

VIOLIN RECITAL 2016

Ami Ito

伊藤 亜美

ヴァイオリンリサイタル2016

5/14
sat

■ピアノ
佐野 隆哉

■Program

ルクー：ヴァイオリンとピアノのためのソナタより第一楽章
G. Lekeu : Sonata for violin and piano 1st movement (1892/93)

メシアン：ヴァイオリンとピアノのためのテーマとヴァリエーション
O. Messiaen : Theme and Variation for violin and piano (1932)

ショーソン：詩曲
E. Chausson : Poème (1896)

坂東祐大：委嘱作品（世界初演）
Y. Bandoh : Commissioned work for solo violin(2016) World Premiere

バルトーク：無伴奏ヴァイオリンソナタ
B. Bartók : Sonata for solo violin (1944)

ラヴェル：ツィガーヌ～演奏会用狂詩曲～
M. Ravel : Tzigane - Rhapsodie de concert (1924)

2016年5月14日(土)

開演 18:00～(開場17:30)

チケット料金

●全席自由 一般4,000円

学生2,000円(当日学生証要提示)

●発売日 2016年1月17日(日)

●お申し込み&お問い合わせ

東京コンサーツ

03-3226-9755(平日10:00-18:00)

<http://tokyo-concerts.co.jp>

(HPでご予約、セブンイレブンでお支払いと受け取りができます)

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650(10:00～19:00 休館日を除く)

<http://www.t-bunka.jp/>

東京文化会館 小ホール



ご挨拶

この数年間、私はヨーロッパと日本を往復し、研修と演奏活動を並行して参りました。文化会館小ホールでのリサイタルは私にとって、二度目となります。この機会を誠に光栄に思い、感謝いたしております。

ヴァイオリニストのレパートリーは、多くのものが1850～1950年に書かれています。今回のリサイタルでは、1曲の委嘱作品を除いて、この100年間に書かれた作品を演奏します。

この100年間のヨーロッパとは、人間の経験する感情の密度や色彩が、ある意味で最も濃い時代であったであろうと思います。芸術家たちは、己の内に強烈な「個」を発見し、例えば愛によって個を燃やし尽くすような…もしくは命を危険にさらされながらも強烈に故郷を思い、人を想うような濃密な人生経験そのものを芸術へと昇華し、体現しようとしていたのではないかと感じています。

現代ではインターネットが普及し、古今の情報がより簡単に入手出来るようになり、誰もが俯瞰的に現代の情勢や、それぞれの時代のことを知り得るようになりました。ときの人・坂東祐大氏の委嘱作品に新しい風を感じつつ、19世紀後半から20世紀前半のヨーロッパに於ける強烈な感情体験を、皆さんと共に共有し、今日を生きるうえでの彩りを添えることが出来たら、それは私にとってこの上ない喜びです。

また、2015年10月の結婚を機に、2016年より、アーティスト名を尾池亜美から伊藤亜美へと変更いたします。今後とも、変わらずに応援して頂ければ幸いです。

2016年5月14日、ご来場をお待ち致しております。

*Ami Ito
2015.12.1*

New Album 「A」 Release!

新たな始まりの「A」、Amiの「A」

伊藤亜美、渾身の
ヴァイオリン・ソロ作品集。



5月25日全国発売に先駆けて、
コンサート当日先行発売。(TC Records)

価格 2,500円+tax

収録曲目

ヨハン・セバスティアン・バッハ

・無伴奏ヴァイオリンのための舞踊組曲第2番 BWV 1004

ベーラ・バルトーク

・無伴奏ヴァイオリンソナタ Sz.117 BB 124

※ジャケットデザインは変更する可能性がございます。

Ami 伊藤(尾池)亜美 / ヴァイオリン

www.amioike.com



3歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学附属高校、同大学音楽学部卒業。スイス・ローザンヌ高等音楽院修士課程修了、イギリス・王立北音楽院IADコース修了。ロームミュージックファンデーション、明治安田クリエイティブ賞受賞。

第11回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、第78回日本音楽コンクールにて第1位。第2回RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱課題曲最優秀演奏賞。第12回カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ジュール交響楽団、他国内外のオーケストラと共に演。山下真澄、ハビブ・カヤレイ、石井志都子、澤和樹、ジェラール・ブーレ、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル、ヤイル・クレスの各氏に師事。

主にフランス音楽、東欧の音楽やヴィルトゥオーゾ・ピース、近現代作品をレパートリーとし、国内のみならず、イギリス、スイス、セルビア、韓国等各地でリサイタルを開催。

2016年よりアーティスト名を『尾池亜美』から『伊藤亜美』に変更。

2014年「French Romanticism」、2016年「A」と題したCDをリリース。

Taka 佐野 隆哉 / ピアノ

www.takaya-sano.com

ダイナミックにして繊細。「色彩感」と「叙情性」に満ちた"実力派"ピアニスト。

都立芸術高校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。2005年に渡仏後、日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院第三課程研究科からの入学を許可され、2008年に修了。併せて2010年、室内楽科を最優秀で卒業。



日本音楽コンクール第2位入賞(03年)を始めホセ・ロカ国際2位(スペイン・08年)、ロン=ティボー国際5位及び聴衆賞、特別賞(仏・09年)等で入賞。ショパン国際ディプロマ(ポーランド・10年)等を受賞。フランス国立管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等々と共に演。

国内はもとより、フランス、ヨーロッパ各地でソロ・室内楽奏者として活躍中。
現在、東京藝術大学、国立音楽大学、都立総合芸術高校各非常勤講師。

Yuta 坂東 祐大 / 作曲

www.yutabandoh.com



1991年大阪府生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学作曲科を首席で卒業。同修士課程作曲専攻修了。

作品は、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪、藝大フィルハーモニア、Art respirant、Ensemble Multilatérale、LAPS Ensemble、Ensemble Muromachi、Juliette Hurel、Benoit Fromanger、Ueli Wiget (Ensemble Modern) 等の演奏家によって、国内外で演奏されている。

第25回芥川作曲賞受賞(2015年)、長谷川良夫賞受賞(2012年)、アカンサス音楽賞受賞(2013年)、第83回日本音楽コンクール入賞(2014年)。

作曲を、野田暉行氏、安良岡章夫氏、野平一郎氏、ピアノを中井正子氏に師事。



主催・マネージメント：東京コンサート